

地域の会前回定例会以降の動き

令和6年10月2日

新潟県防災局原子力安全対策課

1 原子力災害を想定した学校等における児童の保護者への引渡し訓練を実施

9月6日、原子力災害時における対応力の向上を図るため、刈羽村とともに、原子力防災訓練の個別訓練として学校等における児童の保護者への引渡し訓練を実施しました。

<場所>

刈羽小学校

<主な訓練内容>

- ①学校等への情報伝達、児童引渡し指示
- ②学校から保護者への児童迎え要請
- ③保護者への児童の引渡し
- ④保護者への引渡しができなかった児童のバスによる避難、一時移転

2 安全協定に基づく状況確認

9月10日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- 7号機の健全性確認作業のうち、格納容器点検、主タービン起動、発電機仮並列、発電機本並列について操作手順や作業の目的について説明を受けました。
- 使用済燃料の輸送作業について概要説明を受けるとともに、キャスク保管建屋の現場確認を行いました。

3 その他

9月13日：報道発表[「柏崎刈羽原子力発電所に関する安全対策の確認と原子力防災の取組の状況」を更新しました]

令和6年度新潟県原子力防災訓練（個別訓練）
航空機避難訓練・船舶避難訓練
学校等での児童の保護者への引渡し訓練について

令和6年10月2日

新潟県防災局原子力安全対策課

令和6年度 航空機避難訓練・船舶避難訓練の概要

1 目的

原子力災害時の実動組織による避難支援の手順確認と連携の向上を図る。

2 日時・場所・内容

令和6年8月24日(土) 8:00～13:35

訓練項目	行程(時間)	内容
航空機避難訓練	鯖石川改修記念公園 → 柏崎港 (8:15～10:30)	陸上自衛隊航空機UH60JAによる住民避難訓練 ※1
船舶避難訓練	柏崎港 → 直江津港 (10:30～13:15)	海上自衛隊「多用途支援艦ひうち」による住民避難訓練 ※1
	高浜漁港 → 寺泊港 (11:15～13:35)	第九管区海上保安本部「巡視船やひこ」と搭載艇による住民避難訓練 ※2

※1 航空機と船舶を連動した住民避難訓練を実施

※2 柏崎市職員が住民役で避難を実施

3 参加機関・人数

・ 関係機関 8機関 160人

新潟県、柏崎市、陸上自衛隊、海上自衛隊、第九管区海上保安本部、柏崎消防本部、柏崎交通株式会社、頸城自動車株式会社

・ 訓練参加住民 40人

4 訓練想定

- ・地震により柏崎刈羽原子力発電所で原子力災害が発生。その後、全面緊急事態に至る。
- ・地震に伴う市道の寸断等により孤立地域が発生し、PAZ住民の一部について航空機・船舶による広域避難を実施。

5 訓練項目

① 航空機と船舶を連動した住民避難訓練

- ・陸上自衛隊、海上自衛隊の協力により、鯖石川改修記念公園から柏崎港に陸上自衛隊のヘリコプターで避難。
- ・その後、海上自衛隊の船舶へ乗り換え、柏崎港から直江津港へ避難。

② 巡視船と搭載艇による住民避難訓練

- ・第九管区海上保安本部の協力により搭載艇、巡視船を使用し、高浜漁港(柏崎市)から寺泊港(長岡市)へ船舶で避難。

今年度の訓練の特徴①

航空機避難訓練・船舶避難訓練

R6拡充

孤立地域が発生した場合を想定し、**初めて、航空機と船舶を連動した訓練を実施**しました。



ヘリコプターへの搭乗の様子



柏崎港での住民受付の様子



ヘリコプター降機後、船舶に乗船する様子



直江津港での下船の様子

今年度の訓練の特徴②

航空機避難訓練・船舶避難訓練

R6拡充

第九管区海上保安本部の巡視船とともに、**搭載等を使用した訓練を初めて実施**しました。



高浜漁港での搭載艇による避難の様子



搭載艇で沖合の巡視船へ向かう様子



クレーンで搭載艇を収容する様子



寺泊港で岸壁へ乗り移る様子

【参考】住民アンケート結果（暫定版）

①良かった点

- ・ 市職員、自衛隊とも丁寧でスムーズに対応いただいた。
- ・ 小規模な避難には有効な手段だと感じた。
- ・ 船舶、搭載艇ともあまり揺れを感じず快適に過ごせた。

②改善すべき点・不安に感じる点

- ・ 船舶の階段が急なので、年配の方や障害のある方には避難が難しいと感じた。
- ・ 天候が悪かった際、特に冬場での避難はかなり大変だと感じた。
- ・ 夏場だけでなく、様々な季節に実施してもらいたい。



今後も、様々な想定の訓練を継続的に実施することで、防災関係機関の対応能力や住民の防災意識を高めていきます。

1 日時・場所

令和6年9月6日（金） 13:50～16:15 刈羽小学校

2 参加機関・児童数

- ・ 新潟県、刈羽村、刈羽小学校、柏崎交通株式会社
- ・ 参加児童 210人

3 訓練目的及び実施内容

地震に伴い柏崎刈羽原子力発電所において原子力災害が発生した場合を想定し、避難手順（保護者への連絡及び引渡し、一時移転等）の確認を目的に、児童の保護者への引渡し等を実施しました。



体育館での児童の集合の様子



兄弟姉妹ごとに集まる際の様子

令和6年度 学校等での児童の引渡し訓練（刈羽村）



児童がランチルームに移動する様子



引渡し時の受付の様子



児童の引渡しの様子



バス避難の様子

【個別訓練(予定)】

- 学校等での児童の引渡し訓練(柏崎市)
- 緊急時モニタリング訓練
- 放射線防護対策施設の屋内退避訓練

「柏崎刈羽原子力発電所に関する安全対策の確認と原子力防災の取組の状況」
を更新しました

県では、福島第一原発事故を受け、柏崎刈羽原子力発電所に関する様々な取組を行っており、令和5年8月末までの取組状況を「柏崎刈羽原子力発電所に関する安全対策の確認と原子力防災の取組の状況」としてとりまとめてお知らせしました。

この度、その後の取組を追記して更新しましたので、お知らせします。

主な更新内容は、別紙のとおりです。

なお、避難委員会報告書の論点で課題として整理した項目のうち、国及び東京電力に対応を要請した項目に対し、国及び東京電力から、それぞれの取組状況について回答がありましたので、併せてお知らせします。

<掲載アドレス>

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/torikumi.html>



本件についてのお問い合わせ先

原子力安全調整監 飯吉

(直通)025-282-1693 (内線)6460

(別紙)

「柏崎刈羽原子力発電所に関する安全対策の確認と 原子力防災の取組の状況」の更新の内容

前回（令和5年8月末）から令和6年7月末までの取組内容を追記した。

＜安全対策の確認＞ [P3～83]

技術委員会や国の追加検査等の状況を反映した。

1 技術委員会における確認の状況を反映

令和6年度第1回委員会から、確認事項（論点）22項目について国へ確認する段階に進んだ。

→ 説明概要に原子力規制庁の説明を追加 [P11ほか]

→ 技術委員会における確認例に原子力規制庁との質疑を追加 [P12ほか]

2 国の追加検査等に対する県の対応等を更新

令和5年12月、原子力規制委員会が追加検査や適格性判断の再確認の結果を公表した。

→ 主な経緯や県の対応等の内容を更新 [P3、P43～46、P74～79]

＜原子力防災の取組＞ [P85～121]

訓練や施策の進展について反映した。

1 R5年度訓練での実績や新たな取組を反映

① 総合訓練 (R5.10)

平成17年以降18年ぶりとなる国の総合訓練との合同実施に併せ、様々な新たな取組を実施した。

・ 本部運営訓練において官邸等との情報連絡体制を確認 [P118]

・ 住民避難訓練におけるマイカーによる避難の実施 [P 93]

・ 無人航空機による緊急時の放射線モニタリングの実施 [P115]

② 冬季訓練 (R6.2)

積雪時の住民避難（要配慮者、孤立地域）を想定し実動訓練 [P 95]

2 最近の取組（マニュアル改定、施策進展）を反映

・ スクリーニング検査の方式・基準の変更 [P105]

・ 原子力災害対策重点区域内の全ての医療機関・社会福祉施設（入所施設）で原子力災害時の避難計画の策定を完了 [P 96]

・ UPZ内の全市町で安定ヨウ素剤の事前配布を開始 [P110]